

## 令和 5 年度 江南区教育ミーティング 会議録概要

開催日時	令和 6 年 2 月 29 日（木）午後 1 時 30 分から午後 2 時 28 分まで
会場	亀田健康センター2 階 集団検診室
出席者	江南区自治協議会委員：26 名（欠席 4 名） 教育委員：乙川千香委員、石坂学委員 事務局：学校支援課藤田指導主事、江南区教育支援センター所長、 同センター大坂指導主事、亀田地区公民館長 江南区役所：江南区副区長外 10 名 傍聴者：なし
議 事	新潟市の中学生のための地域運動活動・文化活動について
自治協議会 中野会長	<p>それでは次第に沿って 0 進めてまいります。ご意見のある方は挙手のうえ簡潔明瞭にお願いいたします。</p> <p>では、新潟市の中学生のための地域運動活動・文化活動について、学校支援課より説明をお願いいたします。</p>
学校支援課	<p>皆さんこんにちは。学校支援課の藤田と申します。簡単に自己紹介させていただきます。今年度から学校支援課で勤務をしております。昨年度までは中学校の体育の教員でした。中体連、中学校体育連盟の仕事にも長くさせていただきました。部活動の意義や価値というものを十分わかっているつもりで、部活がやりたくて、部活動に携わりたくて教員になりました。よろしくお願いいたします。</p> <p>この後、説明の動画を見ていただきたいのですが、見ていただく前に誤解があるといけないので、少しだけ話をさせていただきます。本日の次第に、地域運動活動・文化活動とありますが、少し長いということで新潟市のほうでこちらの冊子、地域運動活動・文化活動を「地域クラブ活動」として名称をまとめていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>スポーツ庁や文化庁、国では部活動の地域移行という表現を使っています。様々なところで耳にしていると思うのですが、この部活動の地域移行という言葉が、私は「誤解につながるな」と思っております。部活動というのは、学校の教育活動です。学校の教育活動、学校がやるべきことを地域にスライドさせる、「学校の仕事を地域に丸投げするのか」というような捉えが生じてしまうようなところがあるのですが、そうではありません。今までの説明でも出ていますが、様々な理由で今までの体制で部活動をしていくことは難しくなっています。子どもたちのスポーツをやりたい、文化芸術活動をやりたい、その思いを私たち地域の大人がそれぞれの立場でできることを力を出し合っで連携するようになっていくということに捉えていただければと思っています。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、こちらの壁に映りますので、申し訳ございません。お席の移動をお願いします。</p>

	<p>(動画上映)</p> <p>資料 1 ということでご用意いたしました。今の動画とかなり重なる部分が多いですので、資料に沿っての説明は省略させていただきます。</p> <p>部活動が縮小、見直しをしないでほしいなどというような声をたくさん頂いたかと思えます。理解が深まっていく中で、どうやったら子どもたちのためになるのか、どうすると望ましい持続可能なスポーツ、文化芸術活動の環境整備につながるのかというような質問も頂きました。ご質問等あれば、ぜひ教えていただきたいと思っております。この辺りが課題なのだけでも、このようにするとうまくできるのではないのかなという提案を頂けると大変ありがたいと思っております。よろしくお願ひします。</p>
自治協議会 中野会長	<p>どうもありがとうございました。事前に皆さんの手元には、資料をお配りされておりましたので、目を通されていると思えますけれども、このことについてご質問のある方、挙手をお願いいたします。</p>
自治協議会 渡邊委員	<p>現実、そのように部活動が移行するということは聞いておりました。技術とか、いろいろな面では地域と関わる面で大変いいことだと思うのですが、実は実際にクラブ活動として、学校ではないところに入っていた親御さんから相談がありました。監督、指導者から嫌がらせを受け、辞めてくれと言われたということがあったのです。それでどうしたらいいのか分からなくて、例えば、今まで部活動であれば、学校の先生や他の先生に相談したりということがあったかと思うのですが、こういう外部の方からお願いすることになって、そこに習ったり、来てもらったりした場合、そういう相談窓口というのは、どのように考えておられるのでしょうか。</p>
学校支援課	<p>ありがとうございます。基本的には、そのクラブで起こったことになれば、クラブに責任があり、その中で解消というのが望ましいと考えています。ただ、小学生だったり、中学生だったり、在籍している中学校や小学校の教員に相談するということは可能です。</p>
自治協議会 渡邊委員	<p>例えば、生徒同士のトラブルや何かあった場合は、その指導者に相談したり、その指導者の方から、やはり大人としての責任を助言頂くかと思うのですが、その指導者の方が子どもにしているわけですよ。それはどこにご相談申し上げればいいことだったのでしょうか。</p>
学校支援課	<p>今までもそうだと思うのですが、例えば、〇〇クラブというところで指導者の対応がまずかった場合、その〇〇クラブは、そのスポーツ等を取りまとめている新潟市〇〇連盟に加盟しているので、そういったことから指導してもらおうということも考えられるところです。</p>

自治協議会 渡 邊 委 員	<p>やはり自分の子どもが嫌がらせで、親自体にもそれが及んできているので、お宅、やめてくださいというところまでいったのです。それでこれはどこへ話を持っていったらいいのだろうかと思ったのですけれども、こういう場合の相談窓口というのがどこになるのかなということが、全く明確なものがなかったのです。それで今度、どのような部活動に移行されるのであれば、やはり今までだったら学校の先生とか、いろいろなところに相談できたのですけれども、それこそ有名なところにいた方から指導してもらったりしていて、指導者自体がそういうことをしていくとなると、なかなか親御さんは言いづらいわけですよね。そういうときのことも考えて、こういう場合は相談窓口があるのだということを確認にさせていただけるとありがたいと思っております。</p>
学校支援課	<p>指導者の質にしても、すごく大事なことだと思っています。地域クラブ活動の指導に携わる方には、まだ準備中なのですが、研修を予定しています。多くの方々が指導者の資格を持っていますので、一番いいのはこちらに対して対面で研修してということなのですが、なかなか難しいので、オンデマンド動画で研修を好きな時間に受けられるようなものを準備しています。子どもたちと関わって、子どもたちを育てていく大事なことだと思っていますので、特に子どもたちと関わるということも大事な配慮すべき点だと思っています。</p>
自治協議会 渡 邊 委 員	<p>ありがとうございました。本人はそのスポーツが好きで、続けたいのですけれども、そのために辞めざるを得なくなって、ちょっと学校にも行けない時期がありました。実際に起こっていることなので、そこでもう少し市のほうでも考えて、そういう問題が起きた場合の対応なども、ぜひ考えていただけるとありがたいなと思います。ありがとうございました。</p>
自治協議会 上 村 委 員	<p>私自身も今、高校生に上がりましたが、最近まで中学生の保護者でしたので、中学生自身に聞いた話などをお伝えできればと思うのですけれども、うちの下の子は吹奏楽部でしたので、文化部だったわけです。スポーツだと割と少年団があったりだとか、指導している方が地区にいらっしゃるかと思うのです。吹奏楽部だとか、文化部というのはやはり学校の教育を受けた先生方から指導というのが普通でした。新規で習ったりというのは、やはり個人的に個別の楽器演奏だとかという指導があっても、全体の指導ということはなかなかなかったと思います。また、特に吹奏楽部、それから楽器というのは、本当に高価ですし、例えば、木管楽器だとかを今日は土日はこちらでやるからと、いちいち持っていきますなどということがあると、今度は雨で濡れてしまい破損につながりますし、そういった小規模校の格差も確かに大きいのかと思っているのが一つ。そこをどう解消していくのか。</p>

曾野木中などは、もう中学校の部活自体も本当は野球部がだんだんなくなってきたいて、限りある運動部も何とか成り立っている状況であります。先ほどの動画の中でも、自分の中学校とは違う中学校で活動するかもしれないとか、人数を増やすことによって効率よくということは分かるのですが、曾野木中学校から亀田西中に来てくださりとなったときに、子どもたちの移動手段、保護者が送迎するということが現実的ではないのかなど、時間帯的にも。保護者の負担も相当大きくなりますし、また学校でやれるということだと、学校から補助がでないと、他の団体に行くとなったときに、経済的な格差も子どもたちによって、ここのおうちはそれだけ、例えば、高額なところに通わなければいけないとなったときに、やはり断念する子も出てくると思うのです。時間的なところもそうですけれども、経済的な格差もけっこう出てくると思うのです。今度、長距離を行かなければいけないから、そこまでは行けないだとか、あそこのクラブは高額だから通えないだとか、そういったかなり大きな、格差が生じることが想定されると思うのですが、そちらをどうお考えかというところ。あと保護者として安全面。先ほどの話にもありましたけれども、指導者の資質もそうですし、例えば、けがをしたときに救急の手当てがすぐできるのか、その心得がある方なのかとか、もともと子どもに持病があって、それを指導者が十分に知らずに時間がたってしまっ、すぐ処置ができないがために、命が危ないだとか、そういったところもすごく心配ではあります。あと2年というところで、ここから2年間の間でどういう準備を進めていかれるのか。時間的な目標があるのか。急に地域にというか、いろいろなところと呼ばれても、こちらもどう準備していいのかが正直なところ、ここまでにこういうことをしてもらいたい、ここまでにこういうことをしてもらいたいというところの予測がないので、曾野木地区の陸上部とバレー部に関しては、もう外部指導者が入っているのですけれども、そうである指導者は、先生たちはすごく危惧しているのです。他の人のことも、子どもたちのために今、学校に入ってやっているのだけれども、ここのクラブでかわいそうなのだ。ここから何もできないというようにならないように、やはり準備してあげたいというお気持ちの方がけっこういらっやっ、だけれども何をどう準備していいのかが分からない。コミュニティ協議会のほうに、もう多分、2年で始まってしまうから、コミュニティ協議会としても準備したほうがいいのではないかとおっしゃるのですけれども、私たちは何を準備したらいいのかが分からない。何となくのこれからのこのようになっていきますよという、何となくの地図は見えているけれども、その地図までの行き方が分からない。それを詰めていただかないと。

	<p>令和 8 年度になりました。始まりますと言われても、どこも準備が整わないままスタートして、子どもたちが悲しい思いをしなければいけない。何年も自治協議会委員を、先ほど、江南区が知っているのは私だけでしたけれども、それだけ長く自治協議会委員をさせていただきましたが、何年も前からこの地域移行についてのお話を聞いていますけれども、やはりそんなに毎年、進展がない。何をしたい、どうなってくるのかが分かっていかないというのは、あと 2 年というところでまずいのではないかと思います。すみません、いろいろと。</p>
<p>学校支援課</p>	<p>ありがとうございました。吹奏楽について、今も実証中ということですが、学校に大きな楽器がありますので、活動の場が学校になるであろうということで、学校を使って地域の活動を展開していく予定です。吹奏楽の分野においては、吹奏楽の連盟と密に連携して、進めているところです。</p>
	<p>経済的な格差ということなのですが資料 1 の後ろから 6 ページ、立ち上げ補助の検討ということで、今検討しているところです。今まで海外に比べると日本においては、スポーツだとか、文化芸術活動はお金のかからないものという認識でしたが、少しずつではありますが、スポーツや文化芸術活動をしていく意味で、少しはお金が必要になってくるという認識は広がっているとは思いますが。ただし、急激に金額があがってしまうと我慢するしかないということにならないようにする必要があると思っています。</p>
<p>自治協議会 上村委員</p>	<p>どのようなスケジュールで 2 年後を迎えるのかということですが、年度が変わりますので、年度が変わりましたら、完璧な形というわけではないですが、子どもたちが 1 人 1 台タブレットを持っています。タブレットで、例えば、8 区で江南区ですと、江南区で活動できるスポーツであったり、あといくつか出てきて活動団体を早い段階でお伝えできればと思います。子どもたちはいるが指導者を探しているということもありますので、指導者のリストも作成する予定です。この補助事業も令和 6 年、令和 7 年と支援させていただいて選択肢が増えるよう、立ち上がりやすくなるようにしていきたいと思っています。スケジュール等については、新潟市のホームページでどんどん枠を充実して周知していきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>学校支援課</p>	<p>例えば、区ごとではなく、曾野木ですとかえって中央区に近いので、どんなにか移動しやすいかということもありますし、そういったところの柔軟性も持っていただければと思いますし、子どもたちの移動手段について、十分にご検討いただきたいと思っています。</p> <p>説明が足りませんでした。例えば、やりたいスポーツが決まっていれば、そのような調べ方もできるようにしています。</p>

自治協議会  
岡野委員

私、今、亀田空手スポーツ少年団というところの会長をやって、そんなことで自治協議会をしておりますけれども、学校のクラブ、文化部もそうかもしれませんが、外部委託ということなのですが、それが同じようにスライドして、外部委託になるという感じではないと思うのです。保護者の皆さん、そのままクラブ活動がただ、先生がより専門の人に替わって、指導者に替わってよくなるのだなど。若干、施設なども学校の施設を使えるのだしというような認識で少し外部に動くのかなというお考えかもしれませんが、それはかなり違って、私の会も例えば、先ほど、ご指摘ありましたけれども、指導者の資質なのですけれども、スポーツ協会、いわゆるスポーツ指導員という資格を、私は空手ですけれども、空手の専門的な単位だけではなくて、一般的なスポーツ協会の公認指導員という資格をうちの指導者は持っているようにしています。これは取ってまいるように私のほうから頼んだのですが、それもけっこうあちこち行って研修を受けたりして、費用をなかなか使う。基本的に、私はボランティアでやっていますので、そういうシステムがかなり違うのだなど。時間なども、ここに示されているように、15時から17時ですか。私どもの会は17時から始まります。というのは、我々、社会人が主ですので、そんな早くから指導に行けないので、ごめんなさい、19時からですね。午後7時から9時までアスパークの武道館のところですか、あるいは西中学校で指導しているのですけれども、そういったことで、なかなか通常の放課後の活動というような形にはならないのではないかとということが、隣の柔道をやっているのですが、隣に柔道の指導をされている方がいらっしゃいますけれども、彼になりますけれども、やはりそこも社会人がいらっしゃるの、なかなかそのまま今の中学校の部活動がスライドしていくのだなどということにはならないと思うので、その辺り新潟市ももう少し、2年しかないのですけれども、いろいろな方の意見を聞いて、もう少し走り走り作っていかうというお考えだとは思いますが、サウンディングなんかしまして、もう少しかつちりした方向性を示さないと保護者の方は不安になるだけなのではないかと思っています。

学校支援課

ありがとうございました。活動の時間帯が平日の4時から7時までと必ずその時間にしなければいけないのかというと、必ずしもそうではありません。多くの団体からもご意見を頂いているのですが、夜7時から9時の時間帯で活動されている団体が中学生を受け入れてもよいとおっしゃっていただいたり、小学生だけを対象とした団体が学校の動きがあるなら中学生もそのまま受け入れようか、大人だけの団体に小中学生が混じって活動するというようなお声もできています。その団体にあった時間帯で活用いただければと考えています。

自治協議会 小野（幸） 委員	先ほども移動という話が出ましたけれども、両川地区は特に離れていますので、生徒の数が非常に少ない。少人数で、場合によっては一人で移動するとか、そういう場合もあるかと思うのですけれども、特にこういう離れた少人数のところ配慮をぜひよろしくお願いいたしますと思います。
自治協議会 石澤委員	令和8年度から休日の活動は行わないということを原則とされているみたいなのですが、いろいろな大会などは土日で開催しているのが普通だと思うのです。サッカーとか、ミニバスとか。平日も行っているかもしれませんが、休日も行っていると思うのです。これが今度、令和6年度からは実施されないということで理解してよろしいのでしょうか。
学校支援課 自治協議会 石澤委員	令和8年度からは、部活動を行わないということです。 練習は、平日、学校でやる時も、練習の成果を対外試合とか、そういうものもやはり部活動の一種だと思うのですけれども、こういう部活動のことはまた、そういうものに該当しないのでしょうか。学校同士でいわゆる試合を行いました、学校の中なら可能なのでしょうか。対外試合というのはやはり部活動というようなくくりの中には入れないということでよろしいのでしょうか。
学校支援課 自治協議会 中野会長	部活動として土曜日、日曜日に練習試合に出掛けたり、大会に出掛けるということは、令和8年度以降はなくなるということです。 ほかにございませんでしょうか。私のほうから一点。 今までですと、総合体育大会とかありましたけれども、こういう形になるとそういうものがなくなるのだと思うのですが、そうすると今度、クラブチームの試合だけになるという形になるのでしょうか。あと、文化部などもそうだと思いますけれども、大会というのは、やはり少ないと思うのですが、その辺りはそういうクラブチームの大会なり、何とか杯とかと、どこかの企業の大会などにも参加するというような形に変わっていくということが一点、そういう理解でよろしいのでしょうか。
学校支援課	今の休日に何とか杯とか、競技団体、バスケットボール連盟とか、バレーボール協会、競技団体が主催している大会が多くございます。地域クラブ活動としてそういった大会に出ることができます。また今年度、中学校体育連盟の主催大会中体連大会となりますが、中体連大会の参加資格が緩和される動きがありました。今までは亀田西中学校として大会にでる、曾野木中学校として大会に出るのが当たり前でした。地域でスポーツや芸術活動が展開されるようになり、地域のスポーツ団体等が申請を出し、基準を満たす県の中体連の認定を受けた団体は、地域のスポーツ団体などの中体連大会に出られるという大きな変化がありました。来年以降もそれらの動き進んでいくと思います。

<p>自治協議会 中野会長 学校支援課 自治協議会 中野会長</p>	<p>そういう辺りは、その中学校で指導する指導者の方たちもご存じということ。それがこれから説明していくということでしょうか。</p> <p>中学校現場の教員は分かっていると思います。</p> <p>あともう一点なのですけれども、こういった自治協議会の地域の代表の方々には説明がありましたけれども、実際に行うのは地域の方だったりするので、こういった説明をそれぞれの地域でも行ってほしいと思っています。地域の方で指導を行っている方たちの横のつながりも多分、競技が違ってもつながりがあると思うので、ぜひいろいろな地区での説明会を行ってほしいと思いますけれども、それはいかがでしょうか。今後、検討していただけますでしょうか。</p>
<p>学校支援課</p>	<p>周知というところが遅れていて、課題であると認識しております。いろいろこういった説明動画も新潟市のホームページで見ることができます。当初の予定では、2月半ばの市報にいがたでの掲載の予定で準備していたのですが、いろいろありまして、少し見送りになりました。年度替わって、できるだけ早い段階で周知に努めたいと思っています。</p>
<p>自治協議会 中野会長</p>	<p>ありがとうございます。やはりこの話題に関しては、子どもたちも大人もすごく興味津々で、本当にここがよく分からないまま部活がなくなるのだと終わってしまっている子たち、親たちがけっこう多いので、その辺りも含めて、ぜひみんなが理解できるような形で、説明会を開いていただければと思います。</p>
<p>自治協議会 間島委員</p>	<p>私も、今のご意見に関わるところがあるのですけれども、中学校のお子さんをお持ちの保護者の方とお話する機会がありまして、その方は小学生の子をお持ちなのですけれども、あまり保護者のほうが理解されていないような雰囲気も伺えたのですけれども、ぜひ地域ばかりではなく、保護者の方にも理解していただけるように、丁寧な説明をしていただけるとありがたいと思います。よろしくお願いします。</p>
<p>学校支援課</p>	<p>ありがとうございます。小学校5・6年生にアンケートをお願いしていきまして、その際保護者も一緒に学校を通じてアンケートに答えてもらうようお願いしています。中学生、小学生の保護者も周知を図っています。市のスポーツ協会の理事会や評議員会の場をお借りしました、スポーツ団体等のお話をしている段階です。その後、年度が変わると早い段階で競技団体の総会とかというものが行われておりますので、その場にもお伺いしまして、お願いしたいと思っています。</p>
<p>自治協議会 間島委員</p>	<p>大きな変化で大変なこととは思いますが、ぜひよろしく申し上げます。</p>
<p>自治協議会 中野会長</p>	<p>あと他の皆さんのほうからございますか。よろしいでしょうか。</p> <p>大変、ありがとうございました。</p>